

対象案件	「北広島市総合計画(第5次)2018推進計画(平成30年～32年度)の作成」について
意見募集期間	平成29年12月15日(金)から平成30年1月15日(月)まで
担当部署(問合せ先)	企画財政部 企画課 電話 011-372-3311 内3602
意見提出件数	意見提出者数 2
	意見提出件数 5

提出のあった意見の概要	市の考え方 (案を修正したときは修正内容)
<p><b>【サポートファイル推進事業について】</b>  ・配布されたファイルの管理は、保護者が行うことを前提として作られるようですが、親が管理できない場合は活用されないのですか。親に代わって第三者が管理する場合もありますか。</p> <p>・主に支援の必要な子どもに、どのようなタイミングで配布されるのですか。</p> <p>・支援の必要な子どもに支援が届く道具として、使いこなされるよう望みます。</p>	<p><b>【サポートファイル推進事業について】</b>  ・ファイルの管理につきましては、ファイルの内容は大変貴重な個人情報となりますので、原則、保護者が管理することを想定しております。ご意見のような事例が生じた場合は、個別にその状況を把握し、適切な支援が行えるような対応を検討してまいります。</p> <p>・新年度予算においてファイルを作成する予定となっており、事前の事務手続などもございますが、できる限り早い時期に配付を開始したいと考えております。また、配付の方法につきましては、福祉課をはじめ、支援が必要な子どもを把握する市の他の関係部署と連携を図りながら関係部署においても配付を行う予定としております。</p> <p>・このサポートファイルが一貫した支援に活用されるよう、市広報、同ホームページに掲載の上、保護者及び各関係機関へのファイル活用に対する説明会を行うなど、さまざまな機会を捉えて周知・啓発を行ってまいりたいと考えております。</p>
<p><b>【福祉人材確保対策事業について】</b>  ・2018推進計画では、くらしサポーター研修、福祉人材バンクとありますが、こちらの経費はどのように計上されていますか。</p>	<p><b>【福祉人材確保対策事業について】</b>  ・くらしサポーター研修については、講師謝礼、研修に使用する消耗品、通知等の郵便料を経費として計上しております。  福祉人材バンクについては、事業実施に際して新たな経費は生じないものと見込まれるため、経費計上しておりません。</p>
<p><b>【子どもの貧困対策検討事業について】</b>  ・推進計画には、2018年度は実態調査の実施、2019年度は検証・対策の検討、2020年度は対策の検討、とありますがスピード感が足りないと思います。対策を待っている間にも子どもは成長していきます。支援が必要な子どもがいたら、すぐに取り掛かれる対策を行えるような事業にしてください。</p>	<p><b>【子どもの貧困対策検討事業について】</b>  ・子どもの貧困対策につきましては、関係部局の横断的な対応が必要となることから、実態調査の結果を踏まえ、早期に対策の検討をしております。また、支援が必要な子どもや世帯につきましては、総合的な施策の推進による支援のほか、個別の相談対応等から関係機関と連携し、状況に応じた支援につなげてまいります。</p>

提出のあった意見の概要	市の考え方 (案を修正したときは修正内容)
<p><b>【学校図書館活用事業(拡大分)について】</b>  ・大曲地区とありますが、対象となるのは、大曲小、大曲東小と幼稚園、保育園、児童館ですか。</p> <p>・まちなか司書と地域の読み聞かせサークルや子育てサークルなどの連携はどのようになりますか。</p> <p>・まちなか司書の活躍と、子どもたちの読書環境が良くなることを期待します。</p> <p><b>【図書館サービス提供事業(拡大)について】</b>  ・今回、DAISY図書が図書館でも利用できるような環境整備が実現検討され、読書がどんな人にとってもアクセス可能になる大きなステップとなることを、うれしく思います。  DAISYは「視覚障がい者が聞く録音図書」のことだけではなく、「アクセシブルな情報システム」の訳のとおり、ここ数年は、普通の印刷物を読むことが困難(例えばディスレクシアを持つ人)な人々のためにも、利用されています。是非、多様なニーズに対応可能であることを、十分に活かしていただきたいと願います。  また、公共図書館におけるマルチメディアDAISY図書の普及に、伊藤忠記念財団が、長年にわたり積極的に取り組んでおりますので、財団のDAISY図書もご参考頂ければと思います。</p>	<p><b>【学校図書館活用事業(拡大分)について】</b>  ・「地域まるごと読書活動支援モデル事業」は、大曲地区の大曲小学校、大曲東小学校、大曲いちい保育園、大曲はだかんぼ保育園、大地太陽保育園、むつみ保育園での開始を予定しています。</p> <p>・まちなか司書の基本業務は、大曲分館を拠点として地域の小学校図書館で学校司書の役割を果たすことと、保育園での保護者の送迎を活用し、子どもの本とリクエストされた資料が入った「家読パック」を手渡すこととしています。これらの基本業務を継続していく中で、地域のより多くの機関や団体との良好な関係を構築し、業務を発展させてまいりたいと考えています。</p> <p>・地域の読書を包括的にケアし、地域や家庭と図書館を結ぶ「まちなか司書」の配置は、全国的にも例のない北広島市独自の取り組みとなります。まずはモデル事業として開始し、成果や課題を検証することで、子どもたちの読書環境の改善につなげてまいりたいと考えています。</p> <p><b>【図書館サービス提供事業(拡大)について】</b>  ・現行の音訳機器をデジタル機器へと切り替わることに伴い、当面は、視覚に障がいのある方への対応や、運用体制の確立、機器の使用方法についての研修などを予定しています。  今回のデジタル化が、いわゆる識字障がいを持つ方も有効に活用できるなど多様な可能性を持っていることは承知しており、読書や学習におけるバリアフリーについて、伊藤忠記念財団による支援の活用なども含め、調査・研究をしてまいりたいと考えています。</p>